

ご紹介資料・補足4

The logo for 'e-お薬子ねっと' features the text in a stylized, rounded orange font with a slight shadow. The characters are 'e-お薬子ねっと'. Behind the text is a light gray circular graphic with two curved arrows forming a loop, suggesting a cycle or a network.

e-お薬子ねっと

各種導入支援機能の概要

第1. 2版

2017年11月17日

目次

I. 各種導入支援機能の概要	3
1. 各種導入支援機能の概要	4
1.1 導入支援機能の目的	4
1.2 導入支援機能利用時のお願い	4
1.3 導入支援機能でできること	4
1.4 導入支援機能の種類	4
1.5 対応データ種	5
1.6 「Web型導入支援機能」と「テストコード導入支援機能」の比較	6
2. 「Web型導入支援機能」の概要	7
2.1 機能概要と特徴	7
2.2 対象データ種	7
2.3 「Web型導入支援機能」の利用方法	8
2.3.1 データ送信側がV2フォーマットを採用するための準備作業	8
2.3.2 データ受信側がV2フォーマットを採用するための準備作業	10
2.4 「Web型導入支援機能」の利用申請	12
3. 「テストコード導入支援機能」の概要	13
2.1 機能概要と特徴	13
2.2 対象データ種	13
2.3 「テストコード導入支援機能」の利用方法	14
2.4 「テストコード導入支援機能」の利用申請	15

I . 各種導入支援機能の概要

1. 各種導入支援機能の概要

1. 1 導入支援機能の目的

e-お菓子ねっとでは、V 2フォーマット導入時に動作確認を行うための、各種導入支援機能をご提供しています。当該機能の目的は、V 2フォーマット導入前に送信元⇔送信先間で事前検証することで、V 2フォーマット導入後のトラブル※を未然に防止し、スムーズな切替を支援することです。

※導入後に想定されるトラブル

- ・V 2フォーマットで送信 → データチェックエラー → データ未達！
- ・V 2フォーマットで受信 → 自社システム取込エラー！ 等

1. 2 導入支援機能利用時のお願い

V 2フォーマット導入の際には、必ず、導入支援サービスを利用して相対企業様間での動作確認をお願い致します。

1. 3 導入支援機能でできること

(1) データ送信側がV 2フォーマットに切替える場合

- ①自社で作成したV 2フォーマットデータがe-お菓子ねっとで正しく取り込まれること（エラーにならないこと）
- ②上記①でe-お菓子ねっとが取り込んだデータのV 1フォーマット変換データを検証（ダウンロード）すること

(2) データ受信側がV 2フォーマットに切替える場合

- ①自社がV 2にすることで、受信するV 2フォーマットデータが自社システムで正しく処理されること
- ②自社がV 2にすることで、従来の送信元からのデータがe-お菓子ねっとでエラーにならないこと

1. 4 導入支援機能の種類

e-お菓子ねっとが提供する導入支援機能では、2つの機能を提供しています。

- ・「Web型導入支援機能」
- ・「テストコード導入支援機能」

1. 5 対応データ種

二つの機能で利用可能なデータ種は以下の通りです。

「テストコード導入支援機能」は「Web型導入支援機能」を補完するためのテスト支援方法であり、

「Web型導入支援機能」が利用できないデータ種を対象にご利用頂く事を想定しています。

データ種 (V2)		Web型導入支援機能	テストコード導入支援機能
発注データ	03	○	—
入庫予定データ	13	○※	○
受領	14	○※	○
返品通知	18	○※	○
出荷報告データ	23	○	—
請求データ	35	○※	○
支払データ	36	○※	○
販売報告データ	43	○	—

※2017年10月からデータ種追加

○：対象

—：対象外

1. 6 「Web型導入支援機能」と「テストコード導入支援機能」の比較

二つの機能の違いは、以下の比較表にてご確認ください。

比較項目	Web型導入支援機能	テストコード導入支援機能
ご提供環境	<p>①Webシステムを提供</p> <p>②切替後のV2の送受信環境（テスト用）を提供。</p>	<p>①テスト用取引先コードを発行</p> <p>②切替後のV2の送受信環境（テスト用）を提供。</p> <p>③申込み企業様と取引先（相対企業様）へ集配信状況照会の利用環境（Web用ID）を提供</p>
機能概要と特徴	<p>①お申込みがあった場合、e-お菓子ねっとセンターより、Webシステム（Web型導入支援機能）を提供します。申込み企業様は、Web型導入支援機能を利用して、テストを実施して頂きます。</p> <p>②送受信のテスト内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送信のテストは、テスト用の送信環境（送信ファイル）をご利用頂きます。また、処理結果（変換エラー情報）は、Webシステムにてダウンロード頂きます。 ・受信のテストは、現在の本番受信済データ（V1）を入力として、V2フォーマットに変換してデータをご取得頂きます（お申込みいただいたV2の接続方式にてデータをご取得）。また、処理結果（変換エラー情報）は、Webシステムにてダウンロード頂きます。 	<p>①お申込みがあった場合、e-お菓子ねっとセンターより、テスト用の取引先コード（テストコード）を連絡します。申込み企業様は、テストコードに対応するテスト環境を設定のうえ、テストを実施して頂きます。</p> <p>②送受信のテストは、相対企業様と調整してテストを行なうか、申込み企業が取引先に成り代わってテストを行ないます。</p> <p>③“テスト用の取引先コード”の有効期限が切れた場合、ご利用できなくなります（延長申請によりテスト期間を延長することが可能です）。</p>

2. 「Web型導入支援機能」の概要

2.1 機能概要と特徴

- (1) ご利用企業様からお申込みがあった場合、e-お菓子ねっとセンターより、Webシステム（Web型導入支援機能）を提供します。ご利用企業様は、Web型導入支援機能を利用して、テストを実施して頂きます。
- (2) 受信のテストは、現在の本番受信済データ（V1）を入力として、V2フォーマットに変換して取得することが可能です。

2.2 対象データ種

- (1) 「Web型導入支援機能」でテスト可能なデータ種は、以下の通りです。
 - ・発注(03)
 - ・出荷報告(23)
 - ・販売報告(43)

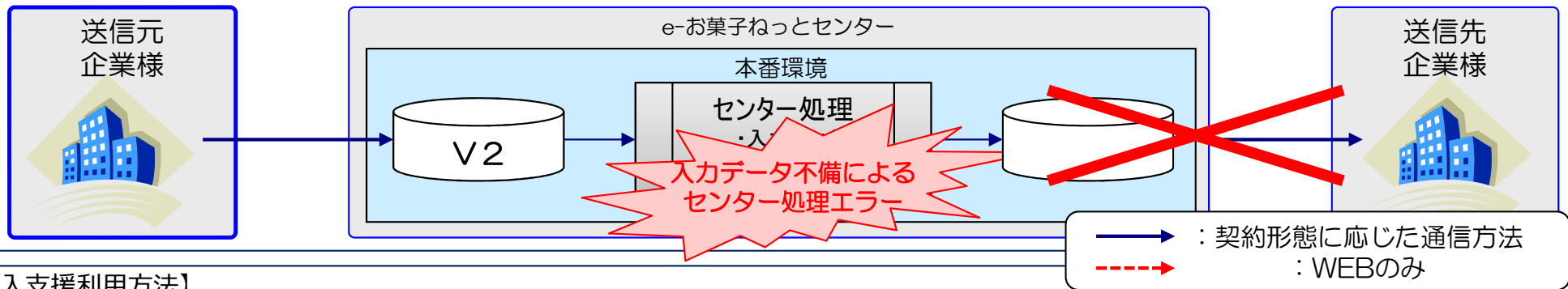
2. 3 「Web型導入支援機能」の利用方法

2. 3. 1 データ送信側がV2フォーマットを採用するための準備作業

- (1) 自社作成のV2フォーマットデータが、e-お菓子ねっとで正しく取り込まれることを事前検証します。
- (2) 自社作成のV2フォーマットデータが、既存のV1送信先様向けに従来のフォーマットと一致することを検証します。

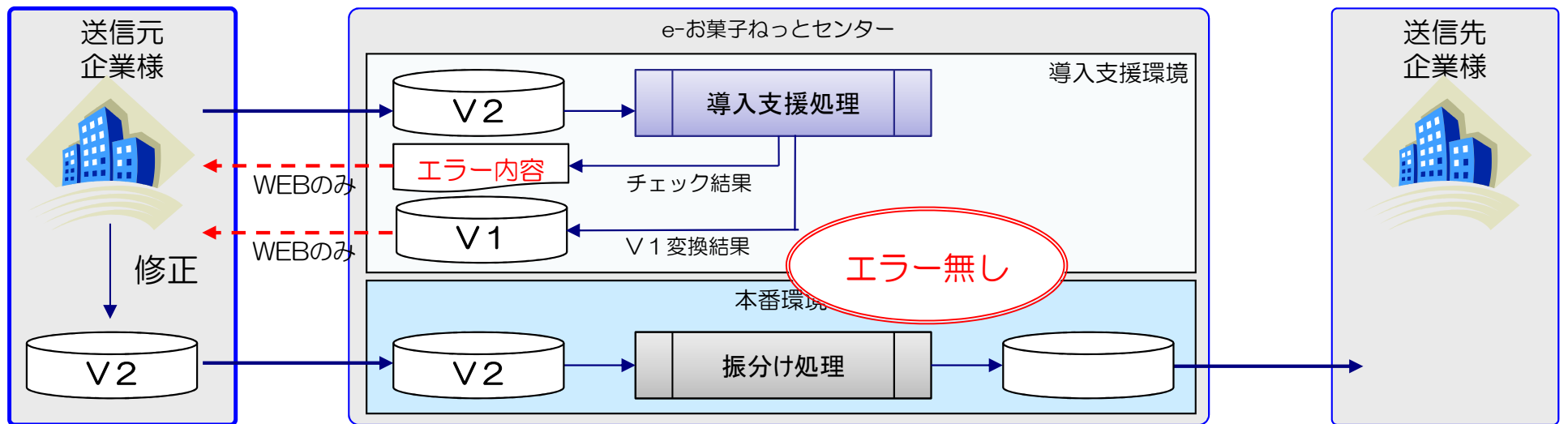
【本番切替時のトラブル例】

- ① 自社作成のV2データが、e-お菓子ねっとでチェックエラーとなり、送信先様にデータ連携できない。
- ② 自社作成のV2データが、V1変換された際に従来（V1送信時）の内容と異なって、送信先様でデータが取り込めない。



【導入支援利用方法】

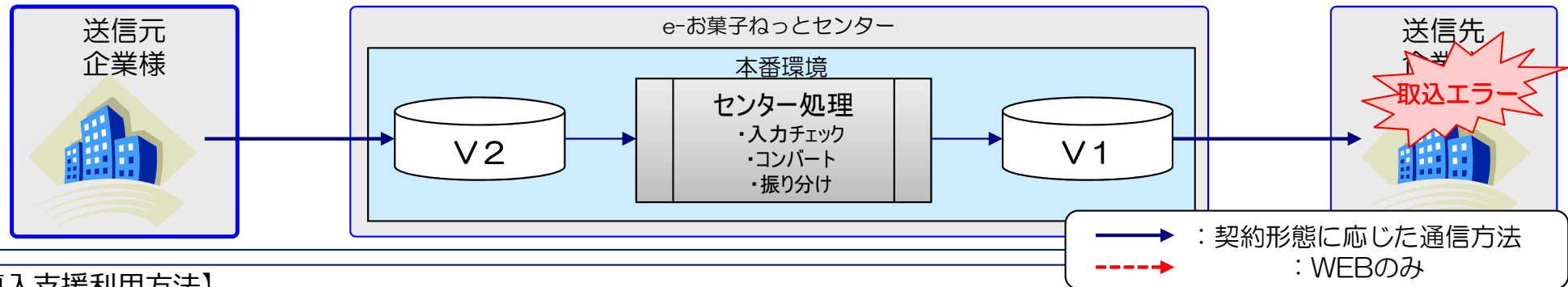
- ① 自社作成のV2データが、e-お菓子ねっとで正しく取り込めることを検証します。（WEB画面に表示）
- ② 自社作成のV2データが、e-お菓子ねっとでV1変換されたデータを検証します。（WEB画面からダウンロード）



- (3) 自社作成のV2フォーマットデータが、既存のV1送信先様で取込み可能なことを事前検証します。
 ※ V2対応に際し、自社業務要件により、従来のV1と異なる設定内容の場合には、送信先様と相対によるデータ確認を実施してください。

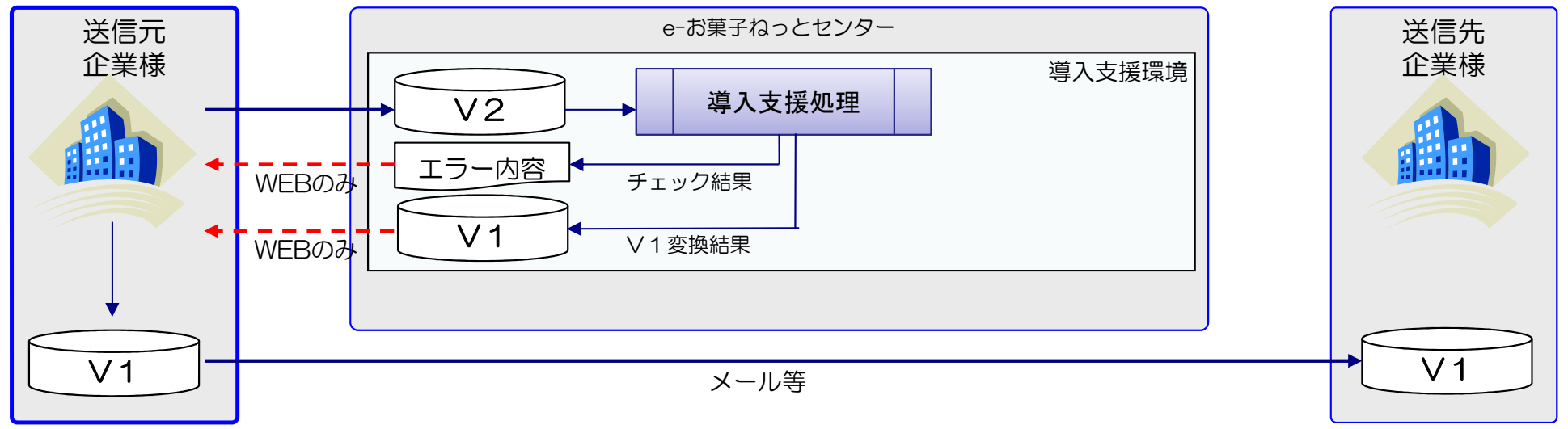
【本番切替時のトラブル例】

- ① 自社業務の変更に伴い、設定内容の変更が発生したため、V1変換されたデータが送信先様で取り込めない。



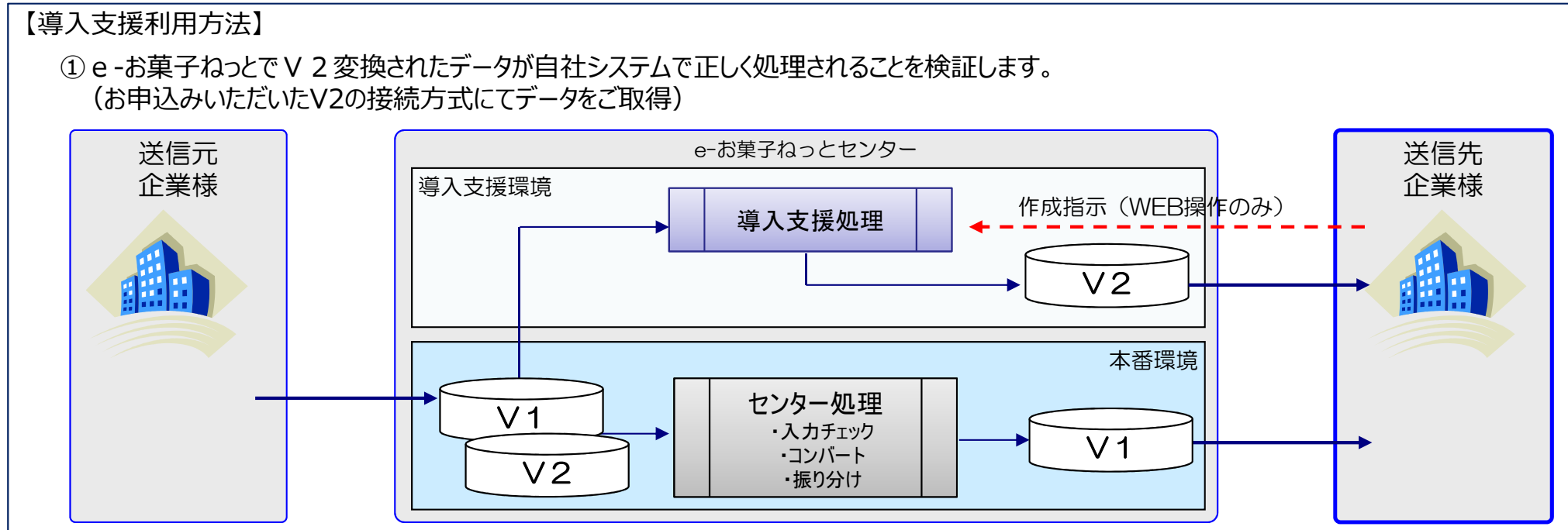
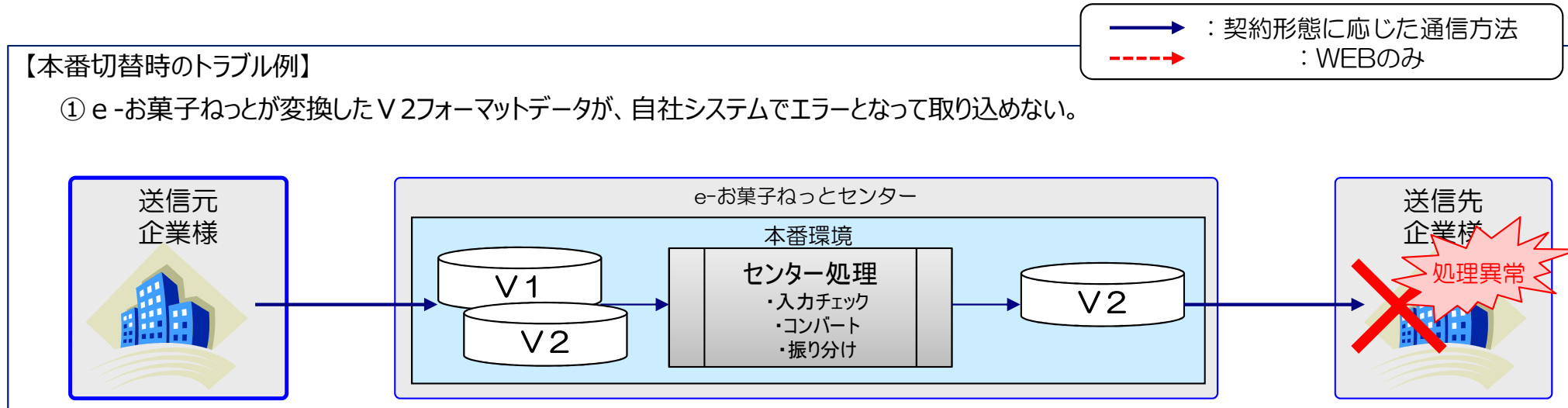
【導入支援利用方法】

- ① e-お菓子ねっとでV1変換されたデータをWEB画面よりダウンロードし、自社で検証のうえ、送信先様にも検証して頂きます。
 ※ V2フォーマットはe-お菓子ねっとではデータ部を変換しないので、自社作成データで送信先様に検証して頂きます。



2. 3. 2 データ受信側がV 2フォーマットを採用するための準備作業

(1) e-お菓子ねっとから受信するV 2フォーマットデータが、自社システムで正しく取り込まれることを事前検証します。

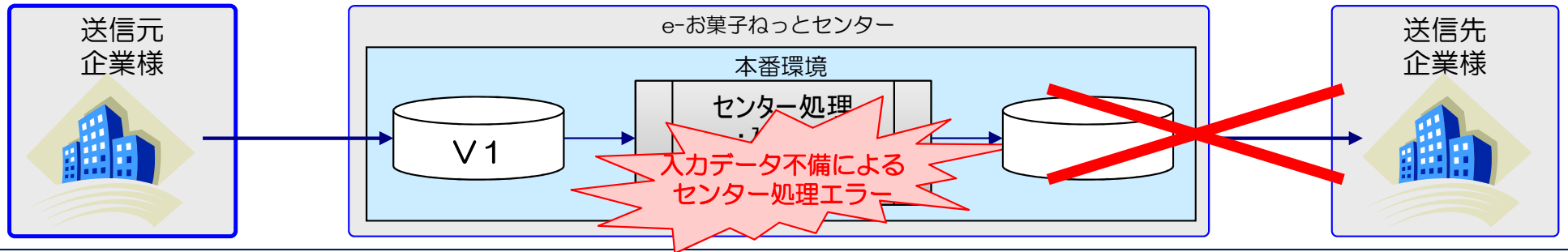


(2) 自社がV 2を導入することで、従来の送信元からのデータがe-お菓子ねっとでエラーにならないことを事前検証します。



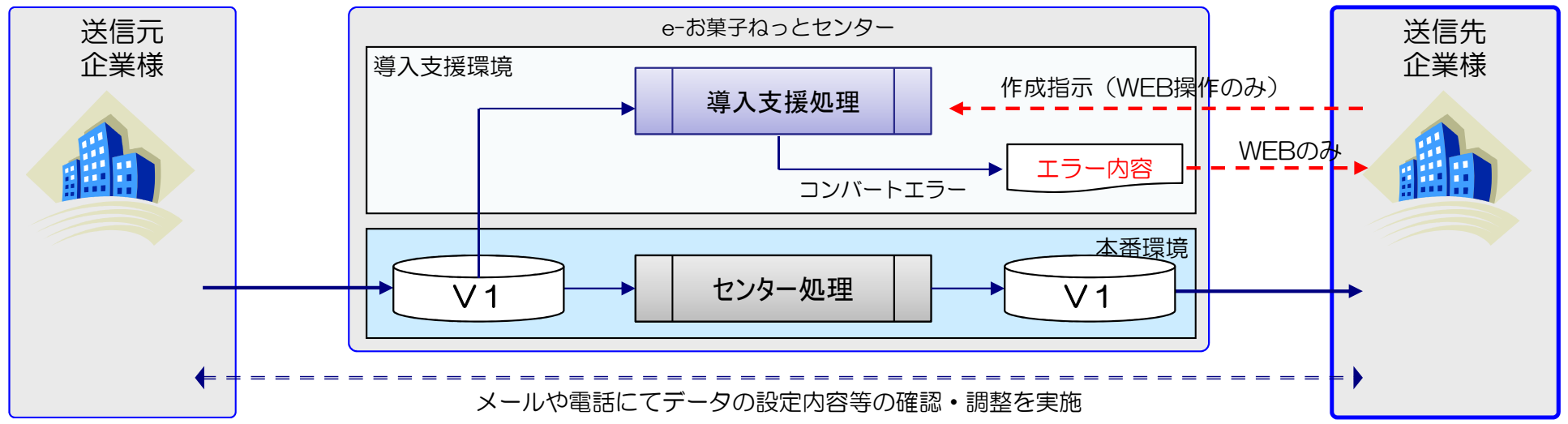
【本番切替時のトラブル例】

① 自社がV 2を導入することで、従来のV 1データが、e-お菓子ねっとでチェックエラーとなり、自社にデータ連携できない。



【導入支援利用方法】

① e-お菓子ねっとにおけるV 1 ⇒ V 2 変換でチェックエラーが発生しないことを検証します。(エラー内容はWEB画面からダウンロード)
 ・チェックエラーを検知した場合は、送信元企業様にご相談ください。



2. 4 「Web型導入支援機能」の利用申請

(1) 利用申請

①「e-お菓子ねっと」接続申込書にて申請

- ・V2フォーマットへの切替時には、接続申込書が必要となります。
- ・切替申請と同時に「Web型導入支援機能」の利用申請をお願い致します。

(2) 利用料金

①「Web型導入支援機能」のご利用に費用負担はありません。【無料】

(3) その他

①本機能の利用には、WEB－EDI画面へのログインが必須となります。

3. 「テストコード導入支援機能」の概要

3. 1 機能概要と特徴

- (1) ご利用企業様からお申込みがあった場合、e-お菓子ねっとセンターより、テスト用の取引先コード（テストコード）を連絡します。
- (2) ご利用企業様は、テストコードに対応するテスト環境を設定のうえ、テストを実施して頂きます。
- (3) 送受信のテストは、相対企業様と調整してテストを行なうか、申込み企業が取引先に成り代わってテストを行ないます。
- (4) “テスト用の取引先コード”の有効期限が切れた場合、ご利用できなくなります（延長申請によりテスト期間を延長することが可能です）。
- (5) 利用可能な送受信方式は、E D Iのプロトコルを対象とします。
(Web - E D Iは対象外とします)

3. 2 対象データ種

- (1) 「テストコード導入支援機能」でテスト可能なデータ種は、以下の通りです。
 - ・在庫予定（13）
 - ・受領（14）
 - ・返品通知（18）
 - ・請求（35）
 - ・支払（36）

※本機能は、テスト環境のみでデータ交換を実施する機能です。

本番環境への誤送信防止のため、誤った送信先コードを設定した場合にも、e-お菓子ねっとがエラー制御します。

3. 3 「テストコード導入支援機能」の利用方法

(1) V1→V2フォーマットへの切替前に、自社で作成したV2フォーマットデータを検証したい

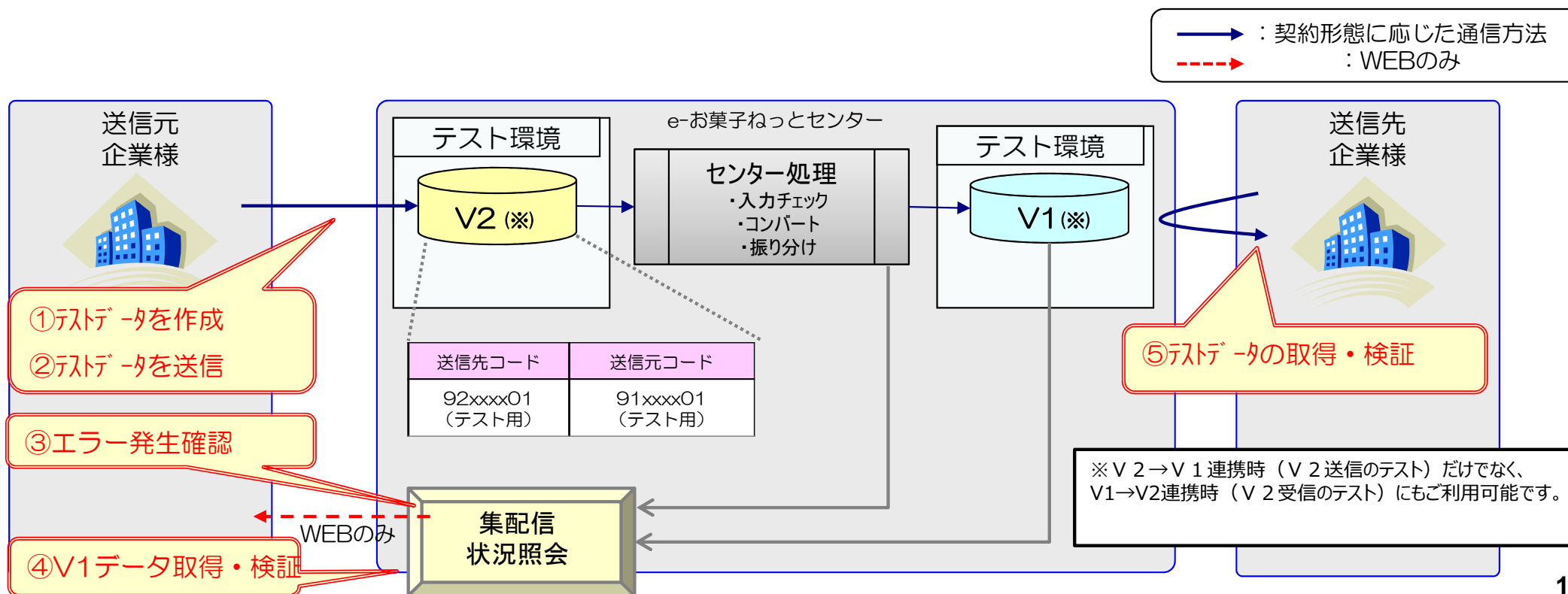
(2) テスト手順

《送信元企業様》

- ①テストデータの作成 (“テスト用の取引先コード”を「送信先コード」と「送信元コード」に設定)
- ②テストデータの送信
- ③集配信状況照会機能にて、センター処理結果 (チェックエラーが無いこと) を確認
- ④センター処理後のV1フォーマットデータをダウンロードし、データを検証

《送信先企業様》

- ⑤送信元企業様より連絡 (テストデータ受信依頼) を契機に、テストデータの受信・検証



3. 4 「テストコード導入支援機能」の利用申請

(1) 利用申請

① 「テストコード導入支援機能申込書」にて申請

- ・「テストコード導入支援機能申込書」による申込みをお願い致します。
- ・V 2フォーマットへの切替時には、接続申込書をご提出ください。

(2) 利用料金

① 「テストコード導入支援機能」のご利用に費用負担はありません。【無料】

(3) その他

- ##### ① 送信元企業様が、送信先企業様からデータを受信する場合、
- 送信先企業様も、テスト用取引先コード（テスト環境）へアクセスする環境を作成していただく必要があります。

【更新履歴①】

第1.0版

ご紹介資料の分冊化に伴い刷新

・ご紹介資料におけるWeb 2008の表記は、Web - EDIに変更（ご紹介資料以外の他の資料は、改版時に対応）

第1.1版

P6 : Web型導入支援機能の誤りを修正

第1.2版

P5 : 導入支援機能（WEB型）のデータ種拡張の反映